

大阪市立図書館「知識創造型図書館改革プロジェクト」の検証について

- 大阪市立図書館は、平成 18 年 2 月に策定された「市政改革マニフェスト（市政改革基本方針）」に基づき、創造都市大阪の知識・情報基盤としての機能拡充、および人員と経費の削減による運営の効率化を目標に、「知識創造型図書館改革プロジェクト」を進めてきました。
- 平成 19 年度より 22 年度の 4 年間で、定型的業務の民間委託を進め、本務職員数を 40% 削減し、総経費を 20% 削減しました。また、開館日数を大幅に拡大し、レファレンス（調査・相談）機能や情報サービスの高度化を図りました。
- さらに、「大阪市子どもの読書活動推進計画」によって、市民ボランティアの養成や学校図書館の活性化を支援してきました。
- この 4 年間の進捗状況について、本市における事務事業の総点検や、「事業仕分け」において、この改革の検証を平成 23 年度に行い、専門委員会や利用者懇談会などによって評価を得ることになり、有識者の方々に招いて意見聴取を行いました。
- 「知識創造型図書館改革プロジェクト」の目標に対する図書館の自己評価は、概ね目標値を達成できたため、成果指標は「○達成」となりました。この間に行った利用者アンケートでも、「概ね満足」の評価を得ています。また、有識者の方々からは、専門的な見地から「知識創造型図書館改革」への総合的な評価についての指摘、意見をうかがい、おおむね良好との確認を得ることができました。
- ただし、目標設定の数値目標の立て方や、広報のあり方についてなど、有識者の方々から指摘、意見を受けたことから、これを次年度からの目標設定や今後の取組みに生かすこととします。また、図書館の自己評価、有識者からの指摘、意見など、今回の検証内容を市民のみなさんに公表することとします。